

数人帰れば「進展」

北の拉致
高村外相

高村正彦外相は25日の参院外交防衛委員会で、北朝鮮による日本人拉致事件について、「拉致被害者数人が日本に帰る」というかもしれない」と述べ、拉致被害者の一部

の帰国が実現した場合に
は事態の進展とみなす可
能性を示唆した。

これに関し、町村信孝
官房長官は同日の記者会
見で、「生きておられる
方がたくさんおられるん
だろうから、全員帰すと
いうのがあくまでも政府
の基本方針だ」と述べ、
政府の交渉方針に変化
はないとの認識を示し
た。

政府は昨年9月の拉致
問題対策本部設置以降、
何をもって拉致問題の
「解決」とするかについ
て、拉致被害者全員の生
存を前提に「すべての拉
致被害者の生還」(当時
の安倍晋三首相)と主
張。一方で、6カ国協議
での対北朝鮮支援参加の
条件とする「進展」の定
義については、「北朝鮮
に条件闘争の余地を与え
る」(外務省幹部)と具
体的な言及を避けてい
た。